



# 蓬中生が蓬生園で ボランティア活動

広報

よもぎた



1998 No. 279

CONTENTS

- 蓬田村民祭
- 福祉と健康まつり
- 秋季火防演習
- 高齢者交通安全教室開催
- カメラアイ
- 川柳北緯41
- あおもりシニア洋上セミナー
- 保健コーナー
- お知らせ情報局
- 児童川柳ペンシル⑩
- 行事予定表
- みくつけた
- 戸籍の窓口



テーマ

# 創造・発展・豊かな郷土

ふるさと

## 第18回 蓬田村民祭



十一月三日、第十八回村民祭（最上重雄運営委員長）が、農業者トレーニングセンターで開催され、大勢の村民でにぎわいました。

オープニングで古川正隆村長が「みんなが協力し合いの交流を深め、意義ある村民祭にしましょう。」と開会を宣言し、花火の合図で全コーナーを一斉にオープンしました。待ちわびていた村民は野菜やほたて、鮮魚の即売と商工会のスタンピング交換セールで目当ての品を買い求めていました。

また、会場内には生け花、陶芸、パッチワークなどの手工芸品、川柳、書道、絵画の文芸作品、自慢の盆栽

午後にはステージでアトラクションが行われ、津軽民謡手踊愛好会と連合婦人会や郷沢母親クラブなど村内の各種団体から十三グループ百六十人が出演、住民参加のアトラクションを楽しみました。最後の「蓬田音頭」では、出演者も観客も一緒になって踊りの輪が会場いっぱいになり、村民祭のフィナーレとなりました。

などが展示され、訪れた人たちは作品に見入っていました。子ども会が運営する焼きそばコーナーも大繁盛で地区の会長たちが汗だくになりそばを焼いていました。



## 第五回 福祉と健康まつり

# ふれあう福祉・めざせ健康

十月十八日、農業者トレーニンゲンセンターにおいて「ふれあう福祉・めざせ健康」をスローガンに第五回福祉と健康まつりが開催されました。

会場には、青森保健所と役場、介護支援センター、村社会福祉協議会などが行っている福祉と保健に関するコーナーを会場一杯に展示して、担当者が介護用品の

使い方を説明したり、減塩料理など普段の生活にアドバイスし、健康管理と脳卒中の予防を呼び掛けていました。

訪れた皆さんは、保健婦や職員に血圧や骨密度を測定してもらったり、歯科保健コーナーなどに足を運び、普段気になっていたことを相談していました。

▲坂本睦子さんの大賞作品

また、青森市のまちだ内科クリニックの町田光司院長が「肺がん予防」と題して記念講演を行い、「肺がんはたばこに危険因子があるといわれ、非喫煙者に比べたばこ喫煙者の肺がん患者が約五倍です。また、周りの人に与える影響も高く、喫煙者でない妻への影響も二倍といわれています。肺がんについてみんなで考え、元気で楽しい豊かな地域社会をつくりましょう。」と自らの禁煙体験と医師の立

場から健康づくりについて話しました。

今年で三回目になるヘルシー料理コンテストでは、主婦十二人が腕をふるい、おかずとデザート料理を出品しました。いずれもカローリや塩分を控え目に、トマト、カボチャなど地域の特産野菜を活用し、いつも冷蔵庫に入っている材料を使って、ヘルシーにこだわりました。審査員も身近にある材料を使い、いかにヘルシーに仕上げているかをチェックしました。結果は、中沢地区の坂本睦子さんが出品した「糸コンとニラのナムル風」と「五豆豆腐」が大賞に選ばれました。表彰式の後、試食会が開かれ参加者はおにぎりを手にコンテストの料理をおかずにして昼食を楽しみ、二十四品の料理は瞬く間に平らげられました。



火災に備えて

# 秋季火防演習を実施



十月二十五日、蓬田村消防団（吉田初男団長）は有事に対応できる態勢を整えるため、瀬辺地区で強風下に火災が発生、延焼の恐れありと想定し、秋季火防演習を行いました。

訓練は、午前八時二十八分に火災発生のお知らせがあり、役場からサイレンの報知で村内八分団、百二十五名の消防団員が出勤して行われました。火災現場に到着した団員は、地域住民が見守る中きびきびした動作で消火活動にあたり、これまで最大のポンプ自動車五台の



ごころの訓練の成果を発揮し通報から約十八分で鎮火させました。

この後、団員は玉松台場まで分列行進を行い士気を高め、人員・機械器具の点検報告に続き、古川正隆村長、木村達史蟹田警察署次長の検閲を受けました。続いて、吉田団長が「われわれ消防人は住民の生命・財産を守る使命を担っています。週一度は地域を巡回し、指導・啓蒙を図り無火災の村を目指しましょう。」と訓示しました。

演習後、団員はポンプ自動車のサイレンを鳴らして村内をパレード、毎戸にチラシを配布し、火災予防を呼び掛けました。



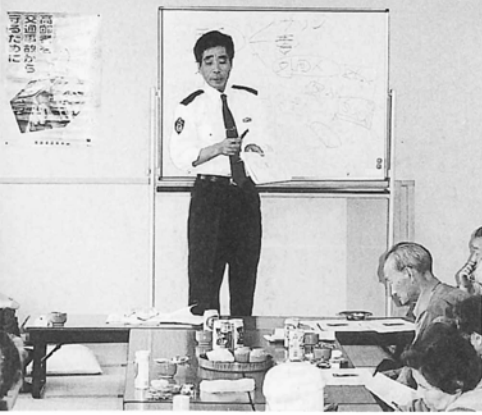


なくそう交通事故

# 高齢者交通安全教室開催

全国的に高齢者の交通事故が多発しているため、村から高齢者の交通事故犠牲者を出さないように、自治会老人クラブの役員約三十五人や村内の一人暮らしの老人に対して、十月八日と二十九日、高齢者交通安全教室を行いました。

老人クラブの役員に対しては、蟹田警察署和久交通課長が蟹田警察署管内の交通事故状況の説明や高齢者向けの交通安全ビデオを使って解説を行い、それについて参加者が日頃の自分の行動と照らし合わせながら、話を聞き熱心に質問してい



ました。

また、最上郁二蓬田駐在所長は、村内の一人暮らしの老人約三十人に対して、交通事故や悪質な訪問販売等について、具体的な事例をわかりやすく身振り手振りを交え、ユーモアたっぷりに話し、出席した皆さんも笑いながら楽しい雰囲気での講習会となりました。

村交通安全母の会（中川菊美会長）も一人暮らしの老人宅を訪問して、夜間の外出時身に付ける反射材やリフレットを配布し、交通事故に遭わないようにと呼び掛けました。

▼履物や腕に反射材を付けて事故予防▼



蓬田中学校ではこれからの高齢化社会に向け、村の福祉活動に触れることにより、ボランティア意識を高めながら、交流を深めようと十一月十一日は三年生、十六日は二年生、十九日は一年生と三日間に分けて蓬生園を訪れ、ボランティア活動を行いました。

## 蓬中生が蓬生園のお年寄りと交流！



その後、蓬生園職員の皆さんに高齢化社会の現状を分かりやすく丁寧に説明してもらいました。また、日ごろ練習している歌を楽器を使いながら合唱し、お年寄りから大きな拍手を浴びていました。

そして、お年寄りに自分で作った名刺を渡して自己紹介し、ゲームやお手玉をしたり、歌を一緒に歌ったりして和気あいあいとした一日を過ごしました。

# カメラ



# アイ

## 気分は公立大生

11月14日、東郡の6町村の中学生が青森市合子沢にある青森公立大学に1日体験入学しました。

このイベントは、青森市と東郡の6町村で組織する青森地域広域事務組合が、組合で設立した大学を地域の皆さんにもっと知ってもらうために実施したものです。

本村からも4人参加し、69人の生徒たちが「パソコン」や「中学生でもわかる経済学」を勉強しました。また、広い学生食堂で昼食を食べたり、大学構内を見学したりして他町村の生徒たちと交流を深め、公立大生の気分をちょっぴり味わいました。



## 廃品回収でリサイクル



10月25日、村子ども会育成連絡協議会（坂本勇一会長）は、古新聞や古雑誌、空き瓶などのリサイクルを目的とした回収活動を行いました。

この日は好天に恵まれ、参加した子どもと育成者約100人は、朝8時から各家庭より協力されたリサイクル品をトラックで回収し、玉松海水浴場駐車場に運びました。

集められた古新聞や古雑誌は19t、ビール瓶などの空き瓶は4,480本でこのリサイクル品は、青森市内の業者に買い取ってもらい、子ども会活動に役立てます。



# 愛の献血ありがとう



11月2日、県赤十字血液センターの巡回車が村を訪れ、役場前で献血を行いました。

今回行ったのは成分献血で、血小板10人と血しょう6人の村内外16人の皆さんにより、ご協力をいただきました。

善意の献血ありがとうございました。

次回は、2月4日に献血を行う予定です。

## 防犯灯寄贈

10月22日、東北電力株式会社青森営業所より、村に防犯灯7基が寄贈されました。

村では、街路照明が不足している箇所、各地区から要望のあった箇所に取り付けをお願いし、地域住民の安全に役立てていきます。



## 牛の野下げ



冬到来を前に10月30日と11月16日、村営牧場で牛の野下げが行われました。

牛たちは春からの放牧生活でたくましく成長し、肉牛生産組合（細谷靖信組合長）の人たちも満足した様子で、手綱を引きトラックに乗せました。里帰りしたのは雌牛41頭、子牛15頭でした。

仲間たちと別れた牛たちは、これからそれぞれの農家で牛舎暮らしとなり、3月ごろからかわいい子牛を出産する予定です。

川柳北緯41°

- 創造で 明日を開こう 新世紀
- 新幹線 白寿の祝 予約済
- 年金で 老後楽しみ 幻か
- 先見つめ 思いを練って 創造す

- 啓子 創造で 若者を呼ぶ 過疎の村
- 勇三 創造力 育ってほしい 蓬っ子
- 勝美 創造の 心育てる 父と母
- 治郎 創造力 子供は親を タマゲさせ

- 昭夫 冬到来。
- 絹枝 スキー、スノーボード
- 年栄 季節がやつて来ました。
- 久栄 体調を崩さないよう健康管理には十分注意し、冬を楽しみましょう。



第8回あおもりシニア洋上セミナー

# 貴重な体験

かみぐち せいじ  
上口 清次さん (長科)

このたび、第八回あおもりシニア洋上セミナー(团长・木村守男知事)に、蓬田村代表として参加する機会を与えられました。

このセミナーは、青森県長寿社会振興財団の主催で、豪華客船「ふじ丸」(二三三、三四〇ト)の船上で、県内に在住する六〇歳以上の高齢者を対象に研修を行うというものです。

参加者は、男性百十九人、女性百八十二人の計三百一人でした。

九月十六日、午後二時の出航予定でしたが、台風五号が青森県へ接近したため、一時間繰り上げ、雨と風の中を出航しました。

陸奥湾で台風の過ぎ去るのを待つて太平洋へ出ましたが、翌日の昼ころまで大しげが続き、ほとんどの人が船酔いを体験する大変な船旅になってしまいました。

そのため、十七日の午前中は研修の一部が中止になりましたが、午後からはメインテーマの「シニアの主張」や青森大学オーブンカレッジの雨森所長の講演は

予定どおり行われました。

十七日の夜は、各組(一組約四十人の八班編成)が歌や踊りの出し物を競う「船上フェスティバル」が行われ、昼までの船酔いを一遍に吹き飛ばす盛り上がりを見せました。(それでも何人かは船酔いのため欠席。)

十八日早朝、無事晴海埠頭に接岸すると台風の被害を警戒して、乗船を見送っていた木村知事が駆け付けられ、講話を行った後、知事を囲んで組単位の記念撮影が行われました。

下船後はバスに分乗して、水戸市の徳川慶喜展示館を見学するなどの陸上研修を行い、福島県いわき湯本温泉に一泊し、十九日の夕方、蓬田村へ無事に帰りました。

おかげさまで、県内各地から集まった多くの人たちと交流を深めて親しい友達がたくさんできました。今後、この交流を生かし「生きがい」の創造に役立てていきたいと思っています。

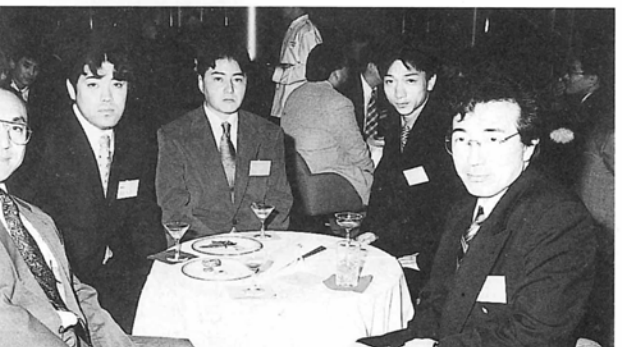
## '98 KASSOワンダー30 ヤングサミット開催!

九月十四、十五日の二日間に渡り、豪華客船「ふじ丸」において、'98 KASSOワンダー30ヤングサミットが開催されました。当日は、青森港堤埠頭に集合したあとバスで鰯ヶ沢まで移動し、日本海抛点館で開会式を行った後、七里長浜港のはまなす埠頭にて出航セレモニーが催され無事出航しました。

ようにして問題を解決していくか話し合いがされ、二日目には、まとめた結果をOHPシート二枚に記入し各班の代表者により発表されました。

若者達のユーモアのある発表に、将来への希望と、意気込みが感じられました。

船内は、百六十三室あり六百人が乗船出来るというとても大きな船で、その中においてポートセミナーや、カクテルパーティー等も行われ、若者五十九人により「新たな交流拠点を求めて」をテーマに、過疎脱却の手段についての討論が班を六班に分けて行われました。



右から2人目が張間覚さん(長科)、3人目が室谷君弘さん(宮本)



# 風邪に

## ご用心!

年に一度は引いてしまう

「風邪」。誰もがくしゃみ、鼻水、鼻づまり、頭痛、発熱、のどの痛み、せき等の風邪の症状を経験したことがあるのではないでしょう。風邪は私たちの日常生活において最もポピュラーな病気なため、「ただの風邪だから大丈夫」と軽視されがちですが、油断は禁物です。風邪は、場合によっては気管支炎や肺炎を引き起こすきっかけになりますし、これらは悪化すると大変危険です。特に体力や免疫力・防御力が低下している高齢者は、ちょっとした風邪から肺炎などを引き起こし、生命の危険にさらされるが多々あります。インフルエンザのように強い全身症状を伴うウイルスの場合はなお危険が伴いま

す。

このように、決して軽んじてはいけない「風邪」なのですが、決定的な予防方法や特効薬はありません。ですから私たちができるのは、風邪から身を守ることや、風邪を引いたら早めに治療を受けることです。そこで、今回は本格的な冬の到来に備えて、風邪を予防するための方策と万が一風邪を引いてしまったときには初期の段階で風邪を治すためにどうするかという部分に焦点をあてて考えていきます。

### ◆風邪は万病のもと?

「風邪は万病のもと」と古くからいわれています。この言葉には風邪には多くの合併症があるという意味と、多くの病気が「風邪症

状」から始まるという意味が込められています。

発熱やだるさなどの全身に出る症状の強い風邪は、抵抗力を低下させ、それがきっかけでさまざまな病気（例えば、肺炎・気管支炎・急性喉頭炎・中耳炎等）が生じてきます。

### ◆風邪の予防対策

① 手洗い・うがいを心がける

風邪のウイルスは人と人の手を伝わって感染したり、空気感染をされるといわれています。他の人にうつさない、あるいは他の人からうつされないためにも外出から戻ったら、せっけんを付けてきれいに手を洗う（そしてきれいに手を拭く）、うがいをするという習慣を身に付けましょう。

② 規則正しい生活を送る  
寝不足や残業で疲れがたまっていると風邪を引きやすくなります。十分睡眠を取り、一日の疲れを解消するようにしましょう。また、栄養バランスを考えて食事を取るようにしましょう。

③ 体を鍛える

散歩やジョギングなど各自にあつた運動をして、体力をつけ、抵抗力を高めましょう。

④ 厚着し過ぎない  
外気の温度変化に対する適応力を身に付けるためにも、必要以上の厚着は避けて活動しやすい服装にしましょう。

⑤ 室内の換気と湿気に注意  
空気がよどんでいたり、乾燥していたりするとウイルスにとって好都合な環境となります。特に冬場は暖房器具を使用するため、時々換気をし、湿度にも注意しましょう。

### ◆風邪を引いたら??

① 体を温め、安静にするとともに、空気の乾燥に注意し、睡眠を十分にとる。

② 食事は、消化がよく口当たりのおかゆや鍋料理、シチュー（など）やビタミンC・Eが豊富に含まれている柑橘類などを特に気を付けて取るようにしましょう。栄養バランスを考えて食べましょう。

③ 体内のバランスを保つた

めに、適量の塩分が含まれた水分（スポーツ飲料など）を十分取るようにしてください。特に子どもの水分不足（脱水）は状態を急速に悪化させるので注意が必要です。

④ 入浴後は湯冷めしないように注意しましょう。

⑤ 室温は18〜20度、湿度は50〜70%くらいに保ち、ときどき換気をしてきれいな空気に入れ替えましょう。

⑥ タバコは鼻の粘膜を傷つけ、ウイルスの侵入を容易にし、室内の空気も汚します。なるべくタバコは吸わないようにしましょう。



## 年金住宅融資がより借りやすくなりました (年2.58%～ 最高2,890万円)

年金住宅融資は、厚生年金保険の被保険者の皆さんが住宅を建てたりまたは住宅を改良するときに、年金積立金の一部が住宅資金として還元融資される制度です。

### ○利用できる方

厚生年金保険に加入している方で、加入期間が3年以上ある方。

### ○資金の使途

新築住宅、マンション、建売、中古住宅購入、住宅改良資金

### ○融資金額

所要資金の80%以内で、加入期間などにより最高2,890万円まで

### ○融資利率

年2.58%～ [平成10年10月16日現在]

### ○返済期間

5年から35年まで、「ステップ返済」も利用できます

【お問い合わせ先】

(社) 青森県厚生年金勤労者住宅協会

☎0177-73-2077

## 三つ子の味覚百までメニュー募集

食習慣は幼児期にその基本が身に付くものであり、この時期の味覚の形成は、生涯にわたる食生活に大きな影響を与えます。

県では、地域の食材を活用し、うす味の食習慣を身に付けることを目的としたメニュー集を作成することとし、目的に合った献立を広く県民から募集します。

### ○献立応募内容等

(1)対象…幼児を対象としたもの

(2)内容…地域の食材を活かし栄養価に富んだまたは伝統的な料理に工夫を凝らした、うす味の「おかず」または「おやつ」。

### ○応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入し、1人分の料理を盛り付けした写真1～2枚を同封のうえ、所轄する青森保健所あてに郵送、または持参してください。

### ○応募締切

平成10年12月18日(金)まで

### ○入選作品数

おかず部門24品、おやつ部門24品 計48品

※応募用紙は役場福祉課にあります。

【お問い合わせ先】

青森保健所 ☎0177-41-8116



## お知らせ

# 情

# 報

# 局



### 冬の交通安全運動期間です

12月11日(金)～20日(日)

スローガン

「なれた道 時間が変われば ちがう道」

運動の重点

○冬道の交通安全運転の推進

○飲酒運転の追放

宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業に役立てられています。

**発売期間**  
**12月1日(火)～12月25日(金)**

(発売総額2,220億円・74ユニットの場合)

1等	-----	6,000万円	-----	222本
1等の前後賞	-----	4,500万円	-----	444本
1等の組違い賞	-----	10万円	-----	21,978本
2等	-----	1,000万円	-----	222本
3等	-----	100万円	-----	7,400本
4等	-----	1万円	-----	148,000本
5等	-----	300円	-----	740,000本
大みそか賞	-----	5万円	-----	444,000本

**抽せん日: 12月31日(木)**

年末ジャンボ宝くじは通信販売でもお求めいただけます。どうぞご利用下さい。

お問い合わせ先 **1枚300円**  
宝くじ協会センター  
tel. 03-3596-3771

\*\*\* 全国都道府県及び12指定都市

### 第3号被保険者の届出もれはありませんか

厚生年金や共済組合に加入している配偶者に扶養されている妻や夫は、国民年金の第3号被保険者になる資格があります。

第3号被保険者の保険料は、配偶者が加入している年金制度で負担するので、本人が納める必要はありません。また、配偶者の保険料に、その分が上乗せされることもありません。

しかし、第3号被保険者に該当した事を届出していないと、保険料を納めていない期間として扱われ、将来、年金が減額されたり、受ける権利を失うことになります。

また、配偶者が離職したときは、第3号被保険者だった人も国民年金の第1号被保険者となり、保険料を納めていくことになります。そして配偶者が再就職したときは再び第3号被保険者に該当した旨を届出ることになります。

これらの届出を忘れたままにしておくと、やはり保険料の未納期間になってしまうので、注意してください。



# ペンシル



題「頭」  
天位 6年  
松本健吾くん

●佳作

さいのうはあたまのどこにかくれている  
どうぶつのかめのこうらはあたまかな  
あたまはねずのうをかかくすはこなんだ  
頭はねているときに休めるよ

わかものよ金をつかわず脳つかえ

あたまはねつかわなければいみがない

あたまにはいろいろなものがあるようだ

あたまにはいろいろな力かくれる

あたまにはいろいろなものがふくまれる

あたまにはいろいろなひみつかくれる

あたまにはいろいろな力あるんだよ

あたまにはいろいろなことはいっている

勉強中頭がコンランバクハツだ

しっかりとあたまをつかてべんきようする

あたまいいさういうひとなりたないな

あたまには右のうと左のうがあるんだよ

あたまはねちいさなゆめがたくさんだ

おとなりのみせのおじさんあたまいい

頭にはどんな未来があるんだらう

あたまはねゆめのくにへもいけるんだ

あたまはねきおくしておくたまでばこ

☆天位 頭の中は未知の世界にあふれてる

☆地位 頭はねきおくしておくたまでばこ

☆人位 頭はねきおくしておくたまでばこ



選評 傘松川柳同好会長

ほづせき 蓬石さん

今回は、一四頭(句)ありましたが、投句した人数がちよつと少なくてさ  
びしかつた。中に、中傷的(人をきずつけるような)な句が七、八句ありまし  
た。よその人にめいわくをかけるような川柳はこのましくありません。  
川柳は、ドラマをぎゅつとちぢめたもので、読んだあとに余韻(よんだ後  
のこるなにか)をのこすのがポイントです。  
人位 勉強してオトナになったら、今は夢だと思っていることができるはずで  
すよ。  
地位 頭が「たまでばこ」だったとは、知りませんでした。よく気がつきまし  
た。  
天位 頭の中には、夢も希望もいっぱいまつているんですね。その夢に向かっ  
てがんばればきつと何かが見えてきます。

テレホンガイド

役 場	27-2111	中央公民館	27-2076
FAX	27-3255	保育所	27-2180
教育委員会	31-3200	幼稚園	27-2042
FAX	31-3201	小学校	27-2069
トレセン	27-3010	中学校	27-2038
スキー場	27-3090	社会福祉協議会	27-2828
よもぎ温泉	27-2170		

12 DECEMBER

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



## 12月行事予定表

開催日	曜日	行 事 名	場 所	時間	担 当
12/2	水	陶芸教室	中央公民館	9:00	中央公民館
6	日	パッチワーク教室	"	10:00	"
7	月	書道教室	"	13:30	"
9	水	陶芸教室	"	9:00	"
12	土	第7回青森県チャレンジ・ザ・ゲーム	青 森 市		"
14	月	幼児育児教室	中央公民館	9:00	福祉課
"	"	書道教室	"	13:30	中央公民館
15	火	生活習慣病予防教室	郷 沢 自 治 会 館	17:30	福祉課
16	水	"	阿 弥 陀 川 公 民 館	17:30	"
"	"	陶芸教室	中央公民館	9:00	中央公民館
21	月	乳児健診	"	13:00	福祉課
"	"	書道教室	"	13:30	中央公民館
23	水	スキー場開き (開設期間12/23~3/22)	ス キ ー 場		社会教育課
"	"	陶芸教室	中央公民館	9:00	中央公民館

# 戸籍の窓



人口と世帯数  
(10月31日現在)

総人口 3,733人  
男 1,766人  
女 1,967人  
世帯数 1,093世帯

## お誕生おめでとうございます

稲葉れいら (一雄) 長女  
                  (美穂子)  
島倉 亮太 (弘和) 長男  
                  (静)  
坂本翔太郎 (弘幸) 長男  
                  (みゆき)

## ご結婚おめでとうございます

(木村 諭 (広瀬)  
          (佐々木千春 (青森市)  
(太田 千之 (瀬辺地)  
          (成田 美紀 (青森市)  
(稲葉 正明 (高根)  
          (三橋 明美 (木造町)  
(中川貴世仁 (郷沢)  
          (村上 雪子 (阿弥陀川)

## おくやみ申し上げます

高田   き江 (郷沢 92歳)  
坂本   三行 (中沢 74歳)  
山館金太郎 (瀬辺地 78歳)

# 東郡連合PTA研究大会

## あすなる県民大学移動講座

年度 あすなる県民大学蓬田村  
催/青森県総合社会教育センター 共催/蓬田村教育委



十一月八日に東郡連合PTA研究大会とあすなる県民大学移動講座が農業者トレーニングセンターにおいて開かれ、東郡小・中学校のPTA関係者約四百人が出席しました。  
午前は連合PTAの表彰などの開会行事の後、シンポジウムが行われ『家庭の教育力の向上を目指すために、PTAはどのような取

り組みをすればよいか』の研究 주제로意見発表がありました。  
午後のあすなる県民大学移動講座では、講師の恵泉女学園大学教授の大日向雅美さんによる『子育てのマナーとは』の演題で講演があり、出席者は自分の子育てを振り返りながら、講演に聞き入っていました。



みつけた

123

福浦竹次郎さん(瀬辺地)の盆栽、姫リンゴの木です。姫リンゴは春に花を咲かせますが、リンゴの実を付けながら、きれいな花も咲いていました。

この日は雪の降る寒い日でしたが、新しい葉も育ち、つぼみもあって、見ているとまるで春が来たような気分でした。

## 編集後記

広報の発行が遅れ、十一月合併号になったことをおわびします。  
寅年もあと一カ月余り、新しい年は卯年です。  
四月から広報を担当し、毎月発行できまわりましたが、お付き合ひありがとうございました。  
来年も頑張りますので、身近な話題や写真などなんでも結構ですのでお知らせください。